

## 2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 26 日作成)

|                              |   |  |
|------------------------------|---|--|
| 小委員会名                        | 環境振動設計指針策定小委員会  |  |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 環境工学委員会<br>(環境振動運営委員会)  | 主 査 名：濱本 卓司<br>就任年月：2017 年 4 月<br>委員長名：持田 灯<br>主 査 名：松本 泰尚   |
| 設 置 期 間                      | 2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月   |  |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | <p>「建築物の振動に関する居住性能評価規準・同解説(AIJES-V0001-2018)」の内容を建築設計に反映させるための「居住性能のための環境振動設計の手引き」(改題)を作成し、環境振動を設計実務で取り扱うための基本的な考え方と具体例を広く会員に提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019 年度：「居住性能のための環境振動設計の手引き」の作成，査読完了。</li> <li>・2020 年度：「居住性能のための環境振動設計の手引き」の完成，発刊。</li> </ul> |  |
| 委員構成<br>(委員名 (所属))           | 委員公募の有無：無   |  |
|                              | 主査：濱本卓司(東京都市大学)<br>幹事：国松 直(産業技術総合研究所)，上明戸 昇(建設環境研究所)<br>委員：石川孝重(日本女子大学)，井上勝夫(日本大学)，井上竜太(竹中工務店)，<br>佐伯兼久(ヤクモ)，鈴木雅靖(鹿島建設)，高野真一郎(大林組)，原田浩之<br>(三井住友建設)，松本泰尚(埼玉大学)，横山 裕(東京工業大学)   |  |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           | 環境振動設計指針策定検討 WG<br>：「居住性能のための環境振動設計の手引き」策定のための具体的作業   |  |
| 2020 年度予算                    | 6,000 円   | ホームページ公開の有無：有<br>委員会 HP アドレス：<br><a href="https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fc00-12/fc40-12.html">https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fc00-12/fc40-12.html</a> |

| 項 目   | 自己評価  |
|---|---|
| 委員会開催数  | 4 回 (年度内計画を含む)  |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は<br>除く)                     | ・「居住性能確保のための環境振動設計の手引き」(2020 年 6 月)   |
| 講習会   | ・既刊本講習会「居住性能確保のための環境振動設計の手引き」<br>2020 年 11 月 4 日 13:30～17:00，参加者数 102 名(会場 46 名+動画配信 56 名)<br>(新型コロナ感染防止の観点から会場参加者は少数に限定した)                         |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー等)<br>*能力開発支援事業委員会<br>承認企画 | なし  |
| 大会研究集会  | なし  |
| 対外的意見表明・パ<br>ブリックコメント等                        | なし  |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得ら<br>れた成果との関係)            | 1. 小委員会を年 4 回開催した。ただし，詳細な打合せを対面で行う必要があつたため，新型コロナ感染防止の観点から，参加者は代表者数名に限定した。<br>2. 「居住性能確保のための環境振動設計の手引き」を発刊した。<br>3. 「居住性能確保のための環境振動設計の手引き」の講習会を開催した。 |
| 委員会活動の問題点<br>・課題                              | なし  |

## 2020 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

| 総合評価<br>(4 段階評価)                         | <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 10px;">A</span> <span>B</span> <span>C</span> <span>D</span> </div>  |
|--|--|
| <p>総合評価に関する<br/>自由記述欄<br/>(理由、特記事項等)</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年 4 回の小委員会を開催し、刊行物の最終確認、講習会に向けた事前準備を完遂した。</li> <li>2. 小委員会傘下の環境振動設計指針策定検討 WG からの提案に基づき、「居住性能確保のための環境振動設計の手引き」を完成させた。</li> <li>3. 「居住性能確保のための環境振動設計の手引き」の内容を多くの会員に理解して頂き、今後の設計実務に役立てて頂くために講習会を開催した。</li> <li>4. 「設計の手引き」の残された課題を明確にし、今後の研究・技術の進歩・発展に伴う新たな知見を盛り込んで、より良い書籍に成長させるために、来年度以降も後継の小委員会を設置して活動することを決定した。</li> </ol> |

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。